

# 農林水産省説明資料

---

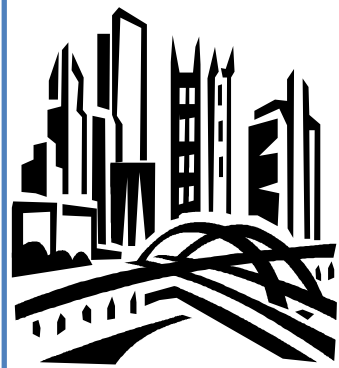
平成29年5月10日

農林水産省

# 行政課題に貢献するIR施設のコンセプト(農林水産省)

- IR施設内に整備されるレストラン等の施設を通じて、日本食・食文化、日本産農林水産物をPRするとともに、免税店等の設置により、日本産農林水産物の消費・輸出拡大を図る。また、これらと併せて日本の地方の魅力を発信することにより、農山漁村への観光、特に農泊の推進を図る。

## IR施設



IR施設での体験を通じた情報発信



家族・旅行者

### 【食文化の魅力を発信】

レストランにおいて日本料理や郷土食を提供し、日本の食文化を発信。また、料理に用いる食材等を展示・販売し、日本産の優れた食材をPR。



日本料理・郷土料理の提供



農産物や食品の販売

### 【農山漁村の文化・景観の魅力を発信】

施設の内装、什器等により、日本文化を演出。また、VR等の最新技術による農山漁村の魅力を発信。



和室や古民家の再現や什器による演出 VR等による魅力の発信

### 【木材の良さを発信】

国産材を利用した施設や宿泊施設を整備するとともに、家族で楽しめるIR施設としてプレイルームを設置し、遊具や玩具にも国産材を利用。香りや視覚効果で森林を演出。



国産材を用いた宿泊施設、遊具や玩具による国産木材のPR

### 土産品購入・輸出推進

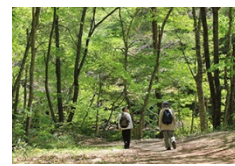
IRで見て、触れて、飲食したものを、自国や自宅でも再現する。



農産物、食品、工芸品等

### 農山漁村観光・農泊推進

IRでの仮想体験を、実際に現地に旅行し実体験に変える。



農村景観、森林浴、農家・農業体験等 1

- SNSやVR等の最新技術を用いた体験、調理技術や地域の文化の解説、展示の提供
- 生産地・生産者情報の提供とビジネスマッチングの場の提供
- 外国人をはじめとする旅行者に地方への観光をアレンジする案内所の設置



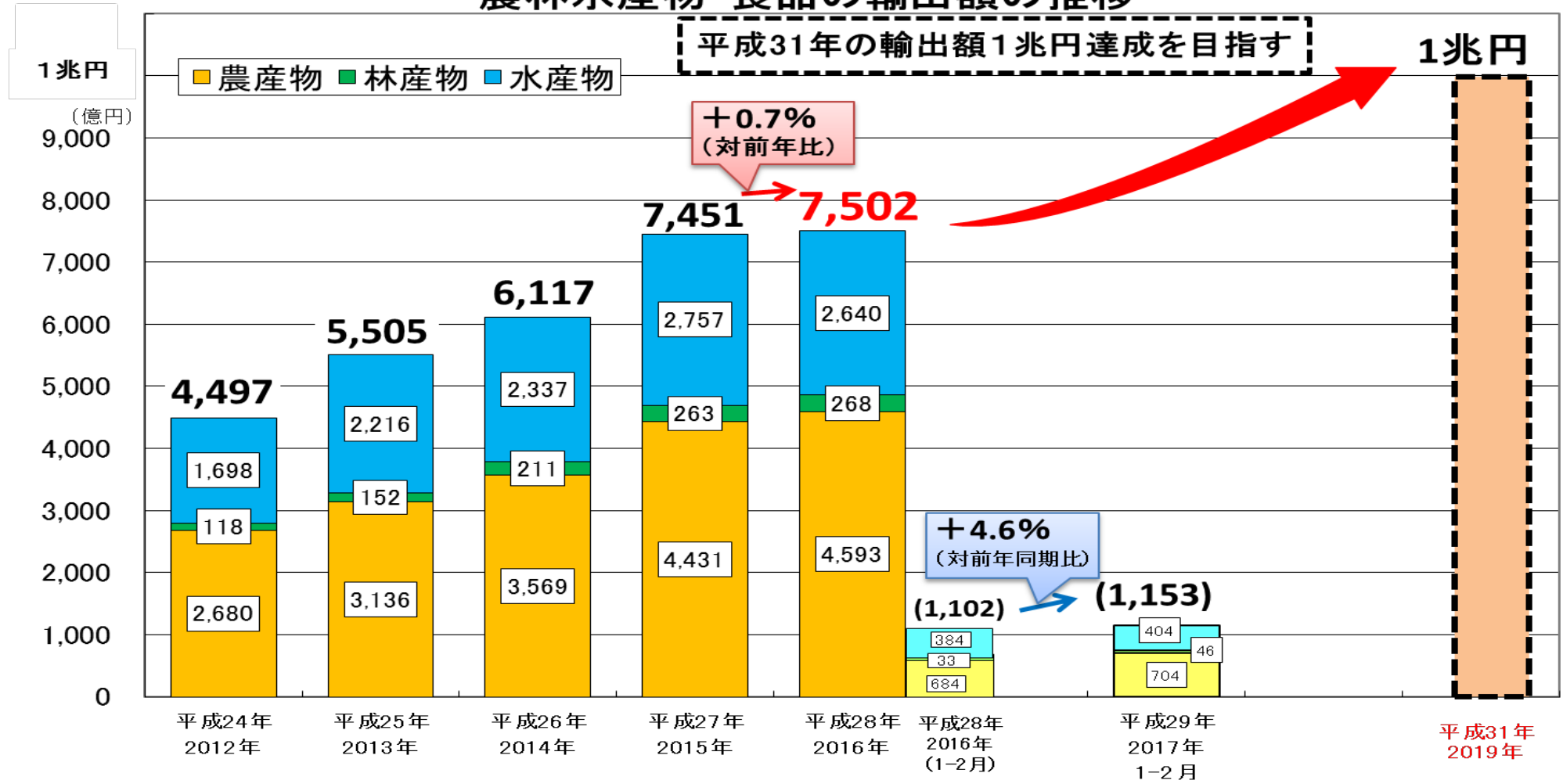


# 農林水産物・食品の輸出額の推移

(参考)  
MAFF

- 我が国の農林水産物・食品の輸出は、平成25年から4年連続で増加し、平成28年輸出実績は7,502億円。
- 平成29年1-2月の輸出実績は、1,153億円で対前年同期比4.6%の増加。
- 平成32年の輸出額1兆円目標について、「未来への投資を実現する経済対策」(平成28年8月閣議決定)において、平成31年に1年前倒し。

## 農林水産物・食品の輸出額の推移



資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

## 観光客を農山漁村地域に呼び込み所得を増大

### 【支援内容】

※観光庁等と連携して推進

農山漁村振興交付金で意欲ある地域を  
重点的に支援

プロモーションの強化

魅力ある観光コンテンツの磨き上げへの支援



農泊ビジネスの現場実施体制への支援

優れた景観や伝統食等の観光資源を有し、農泊の推進に意欲ある地域を対象に、  
①農泊が所得向上につながることを政府のメッセージとして発信  
②農山漁村振興交付金により重点的に支援

### 目指すべき農泊地域

ディスカバー農山漁村の宝  
(農泊関係特別賞等)

農山漁村に賦存する資源を活用した観光コンテンツを創出し、農山漁村滞在型旅行をビジネスとして実施できる体制を持った地域を創出  
(現在まだ少数→2020年までに500地域を目指す)



自立的発展

磨き上げ

対象(ターゲット)

世界農業遺産 (国内8地域) 日本農業遺産	 棚田百選 (134地域)	<b>【農山漁村地域の宝】</b>	レクリエーションの森 (自然休養林等300地域)	森林セラピー (62地域)	 郷土料理100選 (99品目)
世界かんがい施設遺産 (国内14施設)		漁業漁村の歴史文化財産 100選(100施設)		重要伝統的建造物群保存地区 (農山漁村地域53地区)	
<b>【地域の人々の活動】</b> グリーン・ツーリズム実施団体等 (544団体) ※農水省のアンケート調査に対し、取組の拡大意向があると回答した団体(229団体)					